



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

LOJPR08/17- No.122

プレスリリース

飢餓人口 9 億 6 3 0 0 万人に増加

食料価格上昇が原因—経済危機により問題悪化の可能性も

2008 年 12 月 9 日、ローマ-FAO が 9 日発表した暫定推計によると、今年更に 4 0 0 0 万人が主に食料価格の上昇により飢餓に押しやられた。これにより世界の栄養不足人口総数は 2 0 0 7 年の 9 億 2 3 0 0 万人から 9 億 6 3 0 0 万人となり、現在進行中の金融・経済危機によりさらに多くの人々が飢餓と貧困に陥る可能性がある、と FAO は警告した。

「世界の食料価格は 2 0 0 8 年初頭から下落しているが、低下した価格が多く貧しい国において食料危機を終わらせることはなかった」と FAO のハフェズ・ガネム局長は FAO の飢餓報告書の最新版「2 0 0 8 年世界の食料不安の現状」の発表に際して述べた。

「開発途上国の何百万という人にとって、毎日最低限の食料を食べて行動的で健康的な生活を送ることは遠い夢である。飢餓の構造的な問題、例えば土地・融資・雇用へのアクセスの欠如は、食料価格の上昇とあいまって悲惨な現実としてつづく」とガネムは強調した。

主要穀物の価格は 2 0 0 8 年初頭のピーク時から 5 0 % 以上下落しているが、それ以前の年に比べると高いままである。ここ数ヶ月の急激な下落にもかかわらず、FAO の食料価格指数は 2 0 0 8 年の 1 0 月では 2 0 0 6 年 1 0 月に比べてまだ 2 8 % 高かった。種子や肥料（および他の投入財）の価格が 2 0 0 6 年から倍以上となり、貧しい農民は生産を増加することができなかった。しかし裕福な農民は、特に先進国において、より高い投入財の価格をまかない、作付けを増やすことができた。結果として先進国の穀物生産は 2 0 0 8 年に少なくとも 1 0 % は増加すると見られている。開発途上国での増加は 1 % にもならないと見込まれる。

「もし経済危機に関連した低価格と信用収縮により農民が食料作付けを減らさざるを得なくなるとすると、来年はもう一回劇的な食料価格の暴騰があり得る」とガネムは加えた。「2 0 1 5 年までに飢餓人口を半減させるという 1 9 9 6 年の世界食料サミット目標達成のためには、農業および貧しい人の社会的保護のため、強い政治的コミットメントと貧しい国への少なくとも年間 3 0 0 億ドルの投資が必要である」とガネムは述べた。

飢餓に苦しむ人が住むところ

「世界の食料不安の現状」に報告された 2 0 0 7 年のデータによれば、世界の栄養不足人口の大多数—9 億 7 0 0 万人—は開発途上国に暮らしている。このうち、6 5 % は、インド、中国、コンゴ民主共和国、バングラデシュ、インドネシア、パキスタンおよびエチオピアの 7 カ国に住んでいる。これらの人口の多い国での改善は世界の飢餓削減に重要な影響を与える。

非常に多くの人口と比較的遅い飢餓削減の進捗という状況で、世界の飢餓人口のほぼ3分の2はアジアに暮らしている（2007年には5億8300万人）。肯定的な側面では、東南アジアのタイやベトナムなどでは世界食料サミット目標達成にむけて良い進捗があった。一方、南アジアおよび中央アジアでは飢餓削減に向けて後退を余儀なくされた。

報告書によれば、サハラ以南のアフリカでは、3人に1人、または2億3600万人（2007年）が恒常的に栄養不足で、これは総人口当たりの栄養不足人口として最も高い割合である。飢餓人口の増加のほとんどがコンゴ民主共和国という一国でおきた。広範にわたり絶えざる紛争が続いた結果、1100万人から4300万人（2003年から05年）に増加し、栄養不足人口の比率は29から76%に上昇した。

全体的にみると、サハラ以南のアフリカでは恒常的な栄養不足に苦しむ人の比率削減にある程度の進捗があり、34%（1995-97年）から30%（2003-2005年）に下がっている。ガーナ、コンゴ、ナイジェリア、モザンビーク、そしてマラウイが栄養不足人口の比率の最も急激な削減を達成した。ガーナは世界食料サミットとミレニアム開発目標の双方における飢餓削減目標を達成した唯一の国である。農業生産の成長が成功の鍵であった。

ラテンアメリカおよびカリブ海諸国は、食料価格急騰までは飢餓削減に最も成功した地域だった。高い食料価格がこの地域の飢餓人口を2007年には5100万人に増加させた。

近東および北アフリカの諸国では、一般的に栄養不足人口に悩まされる率は世界で最も低い。しかし紛争（アフガニスタンとイラク）と食料価格上昇により1990-92年の1500万人から2007年には3700万人に押し上げられた。

ほぼ手の届かないところに

いくつかの国では食料価格が急騰するまではサミットの目標達成に向けて非常に順調に進んでいたが、「これらの国でさえ後退を余儀なくされた一食料価格上昇により進捗の一部が相殺されてしまった。危機は主に最も貧しく、土地を所有せず、女性が世帯主の家庭に影響を与えた」とガネムは述べた。「2015年までに5億人の飢餓人口を削減するには、莫大かつ断固たる世界的な努力と具体的な行動を必要とする」

輸出業者たちも脅威にさらされる

世界の飢餓状況は、金融危機が更に多くの国の実体経済を直撃するにつれ更に悪化する可能性がある。先進国での需要の削減は、輸出を通じて開発途上国の所得を脅かす。送金、投資およびその他の開発援助を含む資本の流れも危険にさらされている。新興経済諸国では特に、たとえ危機自体は短期間であっても信用収縮の永続する影響を免れることはできない。

英文 URL <http://www.fao.org/news/story/en/item/8836/icode/>